

## 令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立医王山小学校

## ①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	50.0	25.0	25.0	0.0	
問2	英語の勉強は大切だ。	87.5	0.0	12.5	0.0	
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	50.0	37.5	12.5	0.0	
問4	英語の授業の内容が分かる。	50.0	37.5	12.5	0.0	
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	0.0	50.0	37.5	12.5	
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	0.0	50.0	37.5	12.5	
問7	アルファベットの大文字が書ける。	75.0	25.0	0.0	0.0	
問8	アルファベットの小文字が書ける。	87.5	12.5	0.0	0.0	
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	75.0	25.0	0.0	0.0	
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	25.0	37.5	37.5	0.0	

## ②指導改善の具体策

- ・アンケートから、先生や友達に英語で質問したり、質問に英語で答えたりすることに苦手意識を持っている児童が多いことがわかる。そのため、教師が対話のモデルを示し、「できそう」という見通しを持たせて活動に取り組む。
- ・完璧に話せなくても、言おうとしている姿を褒め、積極的に声に出してみる雰囲気づくりをしていく。
- ・ショートタイムの時間を活用し、対話を練習する時間を確保する。

## ③学校関係者評価

- ・子どもたちにとって「英会話」は非日常だが、英語そのものは日常にありふれており、そのことに子どもたちが気づいていない事が1つの問題ではないかと思う。日常語の英語をちゃんと和訳してみせる事で単語力や英語への興味を向上させる事ができるのではなかろうか。
- ・英語を習得しようとする意欲が感じられる。日常的に会話等が耳に入るようにできないか？
- ・指導改善の具体策を進めていければよいかと思います。
- ・英語学習を小学生から取り組むことは大変すばらしい事だと思うが、まだまだ英語に苦手意識が見られる。
- ・「むずかしいと思う」高学年の意識を持つ前に低学年の間に遊びながら、日頃から英会話に慣れていく取組が望ましいと思う。
- ・英語の文法ばかりで実際大人になってから話せない。ALTの先生と対話中心の授業が別に必要なのではないかと思う。
- ・学校で習う英語は丁寧語ばかりで実際に話すにはもっとラフであると聞いた事があるので、その英語を学べたら良いと思います。
- ・受験のための英語学習を自身反省し、最近は翻訳アプリや字幕があるので一向に上達しない等問題もあります。子どもの頃から勉強しておけばと思います。
- ・問5・6の状況に対して、全体的な底上げが必要ではないかと思っています。自信を持たせるためには、長期的な取組又は個別指導が必要かと思っています。
- ・英語で会話してみるのが楽しいという気持ちを持てるように、そして後込みせずに何か英語で話してみようという気持ちを育てて欲しい。

(一部抜粋)